

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	からだと疾病Ⅱ [Basic and Clinical MedicineⅡ]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	
科目コード	307100	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	小川 恒夫			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1)		
授業概要	<p>本授業の目的は人体の機能(生理学)を学ぶ事です。 からだと疾病Ⅰで学んだ解剖学の知識をもとに、体の各臓器が正常状態でどのように働いているか、すなわち体の機能(生理学)について学習します。例えば解剖学では食道・胃・小腸、大腸どのように位置しているかを学びましたが、生理学ではこれらの臓器で食物の消化・吸収がどのように行われるかを学習します。 病院での実務経験のある教員により講義します。教科書には病気について一般的な症状や治療法が書かれています。しかし患者によって病気の受け止め方や治療への意欲も異なり、教科書通りの症状が見られないことも多々あるので、実際の臨床に即した内容を講義していきたいと考えています。</p>						
関連する科目	<p>本授業の履修前に受講することが望ましい科目: からだと疾病Ⅰ 本授業の履修後に受講することが望ましい科目: 臨床医学Ⅰ・Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ・Ⅱ</p>						
授業の進め方と方法	<p>はじめに前回の内容を理解しているかどうかを確認するために、小テストを行う。 次に前半の授業内容を簡単に説明する。その後DVDを見ながら、課題を行う。 6～7名をランダムに指名し、前の白板に課題の解答を記載してもらい、課題の理解度を確認する。 後半は授業を聞きながらプリントに重要事項を記載するという形式で授業を進める。 最後に前回の小テストを返却し、質問を受け付ける。 同じ内容を1年生の小テスト、1年生の期末テスト、2年生の実習と3回くり返し覚えてもらう予定である。 DVDに出てくる内容は難しいものも含まれているので、まずはDVD用のプリントに記載した分だけをしっかりと覚えること。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 骨格筋肉系 骨および筋肉の働き 循環器系 心臓拍動の調節、血圧調節 呼吸器系 肺と組織でのガス交換 肺活量 消化器系 胃、腸での消化吸収の構造 消化器系 肝臓での栄養代謝、胆汁の生成、解毒 泌尿器系 尿の生成、尿細管での再吸収と分泌 生殖器系 性周期と女性ホルモン 内分泌系 ホルモンの働き 脳神経系 神経細胞の興奮、電気現象、中枢神経の働き 脳神経系 末梢神経の働き 感覚器系 体性感覚、視覚 感覚器系 聴覚、味覚 体温調節 放熱散熱機構 ビタミン欠乏症、人体発生 免疫系 アレルギー、膠原病 <p>1～15のすべての回において、それぞれの臓器の働きを学びます。</p>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①体の構造(解剖学)および代表的な疾患について理解する。【知識・理解の獲得】 ②特に重要である生理学の用語について理解する。【知識・理解の獲得】 						
授業時間外の学修	<p>【予習】次の授業内容について教科書の「構造」の部分を読んで来ること。(1時間程度) 【復習】その日に講義されたプリントの括弧内の語句を覚えてくること。(1時間程度)</p>						
課題に対するフィードバック	小テスト、最終試験は採点后、返却 解説をします。	評価方法	小テスト(5点)、期末テスト(95点)				
テキスト	はじめての解剖生理学 講義と実習 金澤寛明 著 南江堂						
参考書	人体の構成と機能及び疾病の成り立ち 総論、各論Ⅰ、各論Ⅱ 南江堂						
備考							